



## 北海道新幹線(新函館北斗・札幌間)の整備に関する有識者会議 による国土交通大臣への報告を受けて

北海道新幹線札幌延伸について、今般、北海道新幹線(新函館北斗・札幌間)の整備に関する有識者会議が、開業時期に関する今後の見通し等の検討結果を取り纏め、本日、国土交通大臣に「現時点では、完成・開業は概ね 2038 年度末頃の見込み」である旨を報告したと伺っております。

これまで当社は一日も早い札幌までの全線開業に向け、新幹線札幌駅の工事や営業主体として必要な検討作業等を進めてきたところであり、開業時期が大幅に遅れることについては大変残念に思います。

当社としましては、新たに示された現時点における開業見通しを踏まえ、開業準備スケジュールの見直しや課題の整理、経営への影響の確認を早急に進め、関係機関に必要な相談をしてまいりたいと考えております。

また、現時点の開業見通しには相当程度の不確実性が残るため、大臣からは、トンネルの貫通に一定の目途が立った段階で、改めて全体工程を精査するよう鉄道局や鉄道・運輸機構に対して指示があったと承知しており、当社も営業主体の立場から必要な協力を行ってまいります。

引き続き、新幹線のスケジュールによらず、経営自立に向けて長期経営ビジョン及び中期経営計画に盛り込んだ札幌駅周辺の再開発事業や必要な経営改善策などの取り組みを全力で推進するとともに、一日も早い北海道新幹線の全線開業に向けて取り組んでまいります。

2025年3月14日  
北海道旅客鉄道株式会社  
代表取締役社長 綿貫 泰之